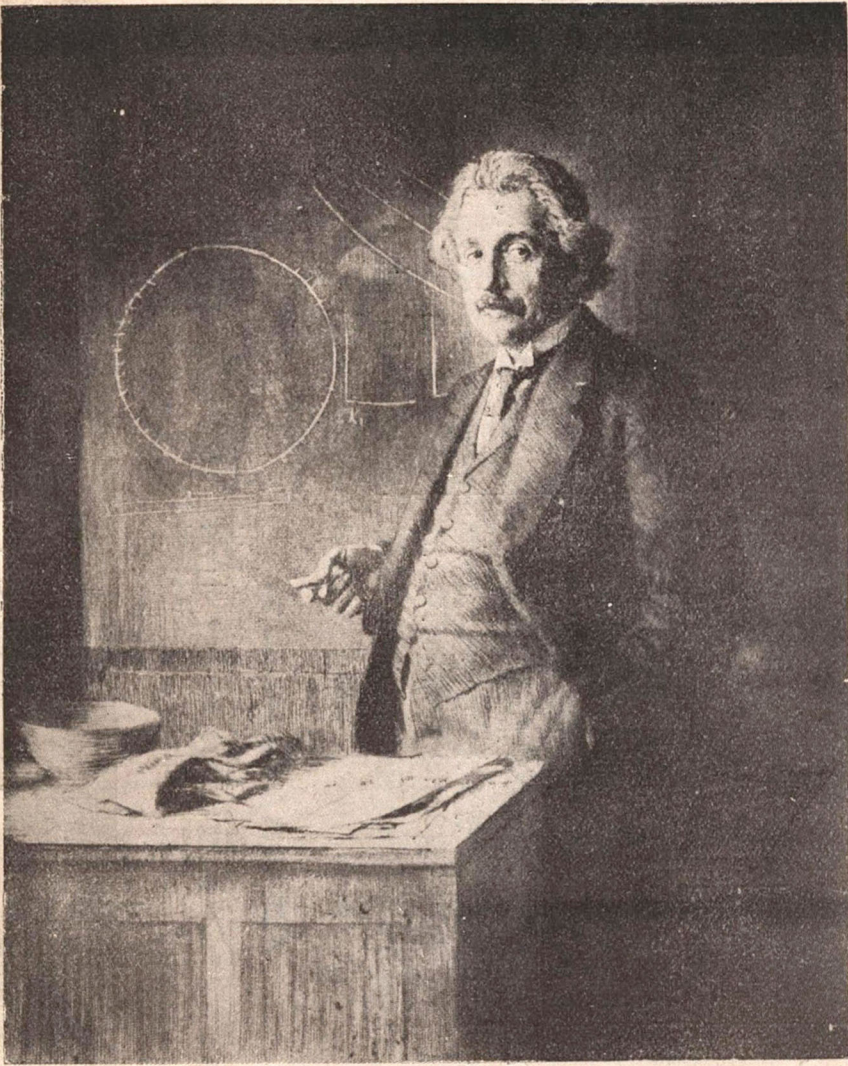


子供の科学



六月號

科學者畫傳其六

アルバート・アインシュタイン

- ◆相対性原理を唱へてニュートンの引力説に◆
- ◆修正を加へた、現代最大の科學界の偉人◆

アインシュタイン教授は一八七九年獨逸ウイルムに生る。十六歳の時チューリッヒの高等工業學校に入り、一九〇一年スイス、ベルンの特許局員となり、傍有名な相対性原理の研究に没頭し、一九〇五年に特殊相対性理論を發表して一躍科學界に重きをなし、一九〇九年チューリッヒ大學教授となり、同一年ブラウグ大學教授に任ぜらる。一九一五年一般相対性原理によつて引力の新しい説明をなし、次いで光線の屈折を實證して、ニュートンの引力説に大改訂を與へ、ニュートンと共に古今の二大物理學者として明星の如く光つてゐる。大正十一年秋日本を訪れたことがある。